令和８年７月定例会会議録

（令和８年７月２７日）

八代市教育委員会

八代市教育委員会７月定例会会議録

【開 催 日】　令和８年７月２７日（月）

【場　　所】　八代市役所本庁４階　４０３会議室

【出 席 者】
中　　勇　二　教育長
渡　邉　裕　一　教育委員
澤　村　亙　寛　教育委員
早　田　　蛍　教育委員
丸　山　智　子　教育委員

【出席職員】
鋤　田　敦　信　教育部長
長　舩　征　洋　教育部次長
田　中　博　之　教育部次長
押　方　佐地子　教育政策課長
寺　本　直　史　学校教育課審議員
稲　本　健　一　教育部理事兼教育施設課長
岡　山　恭　久　生涯学習課長
中　村　裕　一　教育サポートセンター所長
山　﨑　　摂　博物館未来の森ミュージアム副館長
坂　部　功　泰　未来の学校づくり推進室長
中　松　大　輔　教育政策課長補佐
山　本　里賀子　学校教育課課長補佐
右　谷　知　徳　生涯学習課社会教育係長
中　津　志　織　未来の学校づくり推進室参事

【事 務 局】
池　田　拡　次　教育政策課主幹兼教育政策係長
橋　口　久美子　教育政策課参事

（審議事項）
＜議案案件＞
① 八市教委議第１９号　八代市社会教育委員の委嘱について
＜協議案件＞
① 協議第４号　令和８年度教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価の実施について
＜報告案件＞
① 報告第８号　令和８年６月市議会一般会計補正予算及びその他議決事項の概要について
② 報告第９号　八代市学校施設照明設備ＬＥＤ化業務委託（契約の締結）について
③ 報告第１０号　ＧＩＧＡスクール学習用端末（財産の取得）について
④ 報告第１１号　公益財団法人八代市学校給食会経営

状況報告について

⑤ 報告第１２号　教職員の働き方に関するアンケートの結果について

⑥ 報告第１３号　「子供たちの未来を育む学校づくり」に関するアンケート調査結果について

１．開会　（午後２時０１分　開会）

２．会議録の承認　令和８年５月定例会

３．教育長報告　前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

４．議題

＜八市教委議第１９号＞　八代市社会教育委員の委嘱について

岡山生涯学習課長　八代市社会教育委員推薦団体の役員改選により、新たに任命するもの。

質問等なし

【八市教委議第１９号　承認】

＜協議第４号＞　令和８年度教育振興基本計画の進行管理及び点検・評価の実施について

押方教育政策課長　次回８月定例会において協議案件として提出を予定しているが、その際使用する点検評価票の形式の変更点と、第３期計画の最終年度の評価となるため、記載内容について事前に資料により説明。

中教育長　進行管理及び点検・評価に向けた準備の進み具合はどうか。

押方教育政策課長　変更した点検評価票にて、教育長、部長室から各課がヒアリングを行い、指摘や評価の理由なども含め、再度精査しているところである。ヒアリング後点検評価票を修正し、出来次第、教育委員に渡す予定としている。

時間については、半日で終わるよう説明する内容なども検討している。

中教育長　部長達と確認した際、評価票に必要なものが記載されてな

かったり、意味が分かりかねる箇所があったりしたため、内容について再度尋ねることもあり、どうしても時間がかかってしまう。評価票そのものをきちんと記載することを徹底すれば、審議の時間が短く済むと思う。

押方教育政策課長　　昨年指摘いただいた点も含め再度確認する。

丸山教育委員　　開催時間について、短時間で終わるよう配慮していただきありがたい。ただ、項目数が多いので、メリハリをつけ、コンパクトにまとめられるものはまとめていただきたい。
時間がかかっても丁寧にというものもあるかと思うので、私個人としては多少延びてもよい。

＜報告第８号＞　令和８年６月市議会一般会計補正予算及びその他議決事項の概要について

田中教育部次長　　６月定例市議会において議決されたものについて、資料により説明。
●中学校部活動整備事業
●八代市学校施設照明設備ＬＥＤ化業務
●ＧＩＧＡスクール学習用端末

丸山教育委員　　中学校の部活動整備事業で、今年度は軟式野球部４団体、認定地域クラブが４団体ということだが、今ある認定地域クラブはこの４団体のみで他にはないということでよいか。

田中教育部次長　　その通り。

渡邉教育委員　　今の話に関連しての質問だが、１団体あたり３４万５６００円の補助額が出る。まずは軟式野球が先行実施ということだが、今後は実施競技団体が増えていく。実施する他の競技についても、１団体あたりに同じ金額を補助していくのか。

山本学校教育課課長補佐　　今年度は上限額として、今提示している金額で計上している。次年度以降は決まっているわけではない。今年度の補正予算を要求する際に財政課と協議を行い、同じ金額の見込みで今後も要求することは伝えてある。今後も予算が確保できるよう努める。

澤村教育委員　　指導者謝金相当分の経費補助は、全額補助か一部補助か。

山本学校教育課課長補佐　　補助を行うにあたって、基準の時間単位の金額を定めてから補助を行う。実際そのクラブから指導者に対していくら出るかまでは把握できないが、市としての基準を定めていくと

ころである。１時間当たり１，２００円としている。

澤村教育委員　　４団体とはどこのことか。

寺本学校教育課審議員　　現在、野球部で先行実施する取組を計画している。野球部を東西南北と４つのブロックに分け、組織づくり、計画、保護者会等もこの夏までに終了し、準備している。早いところで８月から活動を開始、遅いところでも９月から活動を開始する予定となっている。

早田教育委員　　なぜ野球部から実施することになったのか。また、他の競技への展開は、どのタイミングから実施することを想定されているか。

寺本学校教育課審議員　　野球部は以前から、単体の学校で活動ができないところがたくさんあり、合同で活動したいと指導者等で話が出ていた。昨年度大枠を示した時、野球部の指導者から令和７年度以降は４ブロックに分けて活動しないとチームとして成り立たないと話があったため、先行実施をすることになった。
ほかの団体についても、この先行実施の状況を踏まえて、できる所から地域移行に進んでいくというような形になる。

早田教育委員　　ＧＩＧＡスクール学習用端末のことについて、ＷｉｎｄｏｗｓからＣｈｒｏｍｅに変わることで、大きく変わるのか。また、先生の操作はどうなるのか。
あと、ＡＩ活用はどの程度想定されているのか。

押方教育政策課長　　Ｗｉｎｄｏｗｓはとても起動が遅く、動作遅延もあったが、ＯＳを変更することでそれらが解消できるため、操作面では向上していると思う。
先生方の指導に関して、操作方法は大きくは変わらないが、Ｇｏｏｇｌｅのアプリなどの活用が考えられるので、７月２７日から８月２０日までの間に、全教職員を対象とした研修を実施している。まずは指導側の体制を整えた上で、端末の入れ替えを迎えたいと考えている。
ＡＩについて、子供たちが使うことに関しては、端末の入れ替えのタイミングで英語のＡＩのアプリを使う想定している。
生成ＡＩについては、先生たちが現在研修を受けているため、先生たちに正しい情報の取り入れ方などをマスターいただくことを優先にと考えている。
まずは、公務に活用できれば考えている。

＜報告第９号＞　八代市学校施設照明設備ＬＥＤ化業務委託（契約の締結）について

稲本教育施設課長　八代市学校施設照明設備ＬＥＤ化業務委託の契約締結について、業務委託概要説明書、入札・契約関係の資料により説明。

澤村教育委員　対象は、小学校、中学校、特別支援学校とあるが、幼稚園は対象とならないのか。それとも、もうすでにＬＥＤ化しているのか。

稲本教育施設課長　幼稚園については、昨年度再編に伴いＬＥＤ化を行っている。

中教育長　説明にもあったが、市全体でＬＥＤ化に取組む中で教育施設を最初に取り上げてもらった。今後、市の他の関連施設もどんどん行っていくとのこと。

＜報告第１０号＞　ＧＩＧＡスクール学習用端末（財産の取得）　について

押方教育政策課長　先ほど田中教育部次長よりＧＩＧＡスクール学習用端末の財産の取得について説明を行ったので、取得した新しい端末の概要について説明。取得財産の概要、取得予定価格と台数、受託者の選定・契約概要を資料により説明。

丸山教育委員　今回は子供たちの分を全部入れ替えて、先生はそのままということか。

押方教育政策課長　先生方の端末は３分割でリース契約している。操作に時間がかかったり、起動が遅かったりしているという意見がでているが、分けてリース更新をしている。
来年は、旧市の小学校の先生と校長の端末を入れ替える年となっている。

丸山教育委員　先生の端末も更新をされるということか。

押方教育政策課長　先生の端末も更新時期に更新される。

丸山教育委員　処理能力も向上するということだが、今までは先生がいろいろ工夫しても処理能力が追いつかず止まってしまい、うまくいかないという話を聞いたことがある。それは解消されるのか。
また、教室内のＷｉ－Ｆｉの問題もあると聞いたがそれは大丈夫なのか。

押方教育政策課長　今の操作に時間がかかっているのは端末が原因と考えてい

る。ネット通信の環境は、八代市の学校は文部科学省が推奨する推奨帯域を全て確保しているので、今の負荷状況を見てもさほど負荷はかかっておらず、ネット環境は十分確保できている状態。今の端末が操作遅延の要因と考えているので、端末が変わることで操作性に支障がなくなると考える。ただ、今後起動が速くなりみんなが一斉に使い始めた時に、ネット環境が大丈夫かどうかは監視していきたいと思う。

渡邉教育委員　　学校訪問に行った際、端末の使用状況見ているが、床に置きっ放しで蹴飛ばす心配があったり、落ちる心配もあったりするので、先生が子供たちへの使い方の指導を徹底できるよう、先生への指導を行ってほしい。

押方教育政策課長　　端末の入れ替えにあたって、各学校への通知を行う際にその旨を伝えたいと思う。また、今行っている研修の中でも、教育政策課からのお願いということでその旨を伝えたいと思う。

落ちても大丈夫とメーカーからの話だが、どこまで信用して良いのか少し判断に迷うところがある。ただ、気を付けて使用するようにはお願いはしたいと思う。

早田教育委員　　小学校と中学校では端末が変わると思うが、小学校の時に作り上げたゲームが全部消えてしまったと子供たちから話を聞き、なるほどと思った。

また、子供たちの一部の使い方が悪いと、良いアプリでも全体で使えなくなると聞き、すごくもったいないと感じた。使い方を学んで、子供たちが良い使い方でできるようにやっていければと思った。

＜報告第１１号＞　公益財団法人八代市学校給食会経営状況報告について

押方教育政策課長　　市が資本金を１００％出資している、公益財団法人八代市学校給食会が地方自治法に基づき毎年度議会へ経営状況書類を提出する必要がある。令和７年度の経営状況の書類を次の定例市議会にて提出を予定していることから、事前に教育委員へ報告する。令和７年度事業報告書、令和７年度収支（損益）決算書、令和７年度貸借対照表、令和８年度事業計画書、令和８年度収支（損益）予算書の内容を資料により説明。

早田教育委員　　令和７年度の収支決算書について、支出の部で給食事業費支出と管理費支出が決算額と大きく変わったのはなぜか。

押方教育政策課長　　まず給食事業費支出について、予算額と比較して７９０万

程度不用額となっている。こちらについては、日額で契約している臨時職員が年度途中で退職しその後補充が出来なかった月があった。また、年間フルで働くことを想定していたが、休みなどの関係で実際勤務がなかったので、支出が減りこれだけの不用額が出ている。
　管理支出について、人件費は４人分予定通り支払いしているが、その他３人の報酬などいろいろなものが不用額として積み重なり、８０万円の不用額が出た。

渡邉教育委員　　食材が高騰しているため、昨年は３，３００万ぐらい食材費が上がったと読み取れるが、今年度も３，０００万、４，０００万と高騰した場合、給食費を値上げする形をとるのか、どう対応するのか。

押方教育政策課長　　今も食材の高騰は続いている。令和８年度について給食費を見ると、小学校は５，７００円の単価設定をし、令和７年度に比べると４００円増えている。中学校は６，６００円の単価設定をし、令和７年度６，２００円の単価設定であるため令和７年度に比べると４００円の増えた設定をしている。国の小学校給食費の無償化という動きもあったため、給食費の無償化や物価高騰対策で市の補助金を充てることにより、保護者の負担が増えないようにしている。小学校は、単価としては５，７００円の設定であるが、５，２００円は市が補助金を出しているため、保護者の負担は実質５００円となっている。中学校も、単価としては６，６００円の設定となっているが、保護者負担は３，６００円となっている。

中松教育政策課長補佐　　今の話について補足する。保護者負担について、令和７年度は小学校で公費負担を抜いて月額４，３００だったが、令和８年度は、公費負担を入れたことで５００円となった。
　中学校については、令和７年度は保護者負担が５，２００円であったが、１，０００円だった公費負担を令和８年度は３，０００円にしたことで、３，６００円程度に下がっている。

中教育長　　ある程度食材費の高騰を見込んで給食費を設定していると思うが、予想を上回るような高騰があった場合、現在の給食費で賄うことができるのか。また、その手立てとしてどのような形が考えられるのか。

渡邉教育委員　　センターや調理場の業者も本当に努力されているとは思う。お米の値段は下がってきているが、ほかの食材費の更なる高騰が心配である。

押方教育政策課長　　米の値段は４月当初で年間の契約をしているが、パンや牛乳が昨年度よりも軒並み上がっている。先ほど教育長からあったとおり、今後どういった動きがあるかは見通しとしてはないが、もし状況が大きく変わるのであれば補正などの対応も必要かと考えている。

中教育長　　食材の購入にあたって、給食費の残額を見ながらメニューを作っていると思う。例えばデザートの出る回数が減るなど、いろいろやり方はあるとは思うが、現場の方と連携をしながら、一時期報道にあった給食の量が少ないといった事態が生じないように、確認をしながら作っていってほしい。

＜報告第１２号＞　教職員の働き方に関するアンケートの結果について

山本学校教育課長補佐　　働き方改革に関する国の動向と市の状況について、資料により説明。
教職員の働き方改革を進めていくために職員が抱えている課題、現状の把握を目的にアンケートを実施。このアンケートの結果については、資料により説明。今後改定を予定しているアクションプランの基礎資料としても活用する予定である。

澤村教育委員　　感想になるが、「働き方改革」は少しずつ進んでいると感じている。それぞれが努力をし、少しずつ進んでいるとは感じていたが、このアンケートを取ったことにより、意外な発見があった。「学校における働き方改革アクションプランについて知っているか」というアンケートがある。自分自身としては、おおかた知っていると思っていたが、「知っている」が３６％と全体の３分の１程度であった。「名前は聞いたことがある」「知らない」は中身を知らないという意味と同じになると思うので、３分の２はアクションプランについてほとんどの人が知らないことになると思った。これについては意外な結果であった。次期アクションプランが出来たら、しっかり周知してそれを実行してほしいと思った。

丸山教育委員　　今年度中にアクションプランを改定する予定のためこのアンケートを取ったと思うが、今回把握できた課題を踏まえて改定するにあたり、どういう体制でアクションプランを見直していくのか。スケジュールと改定作業の体制を教えていただきたい。

山本学校教育課長補佐　　体制とスケジュールについて、今回ここで報告をした内容を総合教育会議でも報告する予定である。総合教育会議でもいろいろな意見が出ると考えている。それも踏まえ、改定作

業にも反映できたらと良いと考えている。改定は令和８年１０月を目標にしているが、なかなかスケジュールがないため、教育委員会内の関係課に尋ねながら進めていく予定としている。

丸山教育委員　　特別な体制か、または担当課で事務を進めていくのか。

山本学校教育課長補佐　　学校教育課が中心となり進めていく。出来ないものが恐らく出てくるので、関係課に尋ねながら絞り込んでいき進めたいと考えている。

中教育長　　令和６年度に改定作業を行っているので、その時の体制を参考にしながら、なるべく幅広く教育委員会でタッチできるような形を作っていければと思う。

渡邉教育委員　　先生の思いが非常に良く見え、考えさせられる部分が多々ある。中長期的というより短期的に進めていく部分がたくさんある。例えば、働き方改革を行ううえで進めてほしい取組の中に、小学校における一部教科担任制がある。実際取組んでいる学校はあるか。

寺本学校教育課審議員　　一部進めているところもある。例えば、高学年で１組の先生が社会を、２組の先生が音楽をというように教科ごとに分けてできるところから取組を進めている学校もある。

渡邉教育委員　　教科担任制にはメリット、デメリットあると思うが、私は賛成である。さらにチーム担任制を進める前向きな学校については、教育委員会として後押ししていくことができると思う。

早田教育委員　　いろいろな学校を訪問している中で、人が足りないので人を入れて欲しいと校長から話を伺ったことがある。小学校の先生は担任を持っているので余裕がないが、中学校の先生は教科担任で余裕がある先生もいる。小学校・中学校が近くにあり連携している学校は、中学校の先生が行ったり来たりが盛んになると良いとの意見を聞いた。
　苦情や不当要求がどの程度あるか私には分からないが、いろいろな保護者と話す中で、価値観が違ったり共感できなかったりと感じることがある。学校の対応について、学校のみで対応しているのか、教育委員会として関わるならどの程度から教育委員会が関わるのか現状を教えていただきたい。

寺本学校教育課審議員　　ケースバイケースである。学校から相談があり対応している事案もある。その他、学校支援委員会等が中に入り、協力

して対応を行っている事案等もある。件数については今正確には答えられない。

早田教育委員　　大体どの程度あり、１ヶ月に何件あるのか。また、今抱えているのは何件か。

寺本学校教育課審議員　　今大きく抱えている継続案件として、およそ４、５件ある。単発的にいろいろ保護者からの苦情が直接教育委員会に来ることもある。１度、２度の対応で納得される場合もあるが、なかなか納得されないまま継続してしまう案件もある。

早田教育委員　　おそらく学校の現場ではギリギリまで先生たちが頑張って対応され、その後教育委員会に上がってきているのが多いのではないかと思う。教育委員会への相談基準を決めてもらえば、学校としても負担が減るのではないかと思う。

中教育長　　補足すると、学校で日々保護者といろいろなやり取りをしながら対応しているが、初期対応に課題があった場合、対応が長期化し、その後教育委員会が対応に入っても解決に時間を要する事案に発展することがある。そもそも何からスタートしたのか確認した際、当初は長期がするような事案ではなかったものが、初期の対応で行き違いが生じること等により、事案が複雑化したり長期化したりすることはある。教育委員会に相談があった場合は、電話対応や現地への訪問、保護者の方との直接の対話などをお通して対応に努めているが、対応の難しさを実感しているのが実情である。先生方のアンケートの回答にもあるように、特別な支援や配慮が必要な家庭の対応について、学校現場の負担が大きくなっている。教員が長年の経験を活かしながら対応しているが、従来の経験だけでは対応が困難なケースが増かしていると考えている。そのため、教育委員会としても学校と一体となって対応していく必要があると考える。

丸山教育委員　　今から内容を詰めて作っていくと思うが、先ほど澤村教育委員からも指摘があったように、どんなに良いプランを作っても「知っている」という方が３分の１程度しかいないのであれば、進まないと思う。先生方をどんどん巻き込んで、次のプランについてはしっかり理解してもらえるような形や周知が大事だと思う。働き方改革のために必要な取組がたくさん掲載されることになると思うので、それを実行していくのは市でもあり、学校現場自身でもあるかと思う。次のプランがしっかり周知されて、もっと「知っている」が増えるように取り組んで頂ければと思う。

中教育長　　これは総合教育会議のテーマとして取扱う予定であり、市長も自身の政策の中で掲げているものである。今回は、サポートセンターの所員会から現場で働いている非管理職の教員４名に加わってもらい、現場の生の声を直接届けてもらう予定である。そういった取組の中で、マンパワーの確保が最も重要なテーマだと現場の先生方も認識している。その人材確保をどのように進めていくのかについて、市長にも十分にご理解、ご認識いただき、来年度からの実現に向け少しでも具体化を図っていきたいと考えている。

＜報告第１３号＞　「子供たちの未来を育む学校づくり」に関するアンケートの結果について

坂部未来の学校づくり推進室長　　先月６月に実施した学校再編に関係するアンケートについて、取りまとめたものを資料により説明。

丸山教育委員　　保護者のアンケート回答で、「学校再編を進めるべきかどうか」の質問に対し、「わからない」と回答された方が約７００人と意外に多いと思った。「わからない」と回答した場合の自由記述はないのか。

坂部未来の学校づくり推進室長　　自由記述はない。

早田教育委員　　先生たちの意見は、子供たちに与える影響であったり、学校再編が与える影響だったり、良い面悪い面など、現場の声が出ていると感じた。保護者の方の意見は、自分の子供への思いや個々の生活が反映されているものが多かったと思う。どちらも気付かされたのは通学の問題や子供にとっての安全で、再編というより教育環境全体を充実させてほしいという思いが大きいのではないかと思った。再編が先ではなくて、どういう環境を目指し、その先に再編があるほうがよいと改めて感じた。

渡邉教育委員　　アンケートの取りまとめについては、大変ご苦労があったと思う。非常に多くの回答が寄せられ、内容を確認したが、たくさんの応援とたくさんの批判があって、市民の方が本当に正直な思いを寄せられていると感じた。これをどう活かしていくかは、非常に大きな責任がある事柄だと感じている。学校再編に関する保護者の意見も確認したが、再編のイメージが一人一人違っているので、なかなか難しいと思った。全体的に、事前に想定していたとおりの意見もあれば、全く異なる視点のものもあり、「今の子供たちはこう考えているのか」と思う意見があったので、大変興味深いものであった。特に注目したのは、保護者が考える望ましいクラス数であ

り、今後の学校再編を検討するうえでのヒントになるのではないかと感じた。このアンケート結果については公開される予定か。

坂部未来の学校づくり推進室長　公表を前提にしている。先生方の意見で、学校ごとに載せる必要がないものは全体のだけを載せるなど工夫して公表する予定である。

渡邉教育委員　自由記述欄にも学校が特定されるような記述もたくさんあったので、公表の仕方も難しいと感じた。

坂部未来の学校づくり推進室長　公表の方法については、今後検討していく。
渡邉教育委員からのご意見にもあったように、アンケート回答の分析からも、学校再編の捉え方が一人一人異なっているという印象を受けた。来月下旬に予定している保護者向けのワークショップでは、そうした部分もしっかり拾い上げられるよう、テーマ設定や意見抽出の方法を工夫していく必要があると考えている。

澤村教育委員　今まで出た意見と同じようなものだが、私は小規模の学校の地区に住んでいるので、小規模校の子供たちはどんな考えなのかを見てみた。「再編を進めるべき」や「クラス数が多い方が良い」などの意見が多いと予想していたが、「そのままでいい」「今のままがいい」などの意見が結構あったので、子供たちの感じ方は様々だなと思った。保護者の意見として、「どちらかといえばもう少し人数を多くしてもらったほうが、色々教育活動も活発にできて良い」という意見が多かったように思う。子供たちの考え方や感じ方は様々で、ある意味意外な面であった。
自由記述について、たくさんの記述があったのですべて読むことは出来なかったが、こちらが予想していたような記述もあれば、意外な視点から見ている記述もあり参考になった。特に保護者の方の自由記述と教職の自由記述はある意味参考となった。今後進めていくにあたり、様々な意見が出ているがそれをすべて対応することは無理であるため、しっかりとした考えを持って丁寧に説明していくしかないと思った。今までやって来たように、地道に丁寧に真摯に対応していくことが大事になってくると感じた。これから会議もあるが、今までどおり頑張っていきたいと思った。

中教育長　今後のスケジュールはどのようになっているか。

坂部未来の学校づくり推進室長　８月上旬から保護者向けのワークショップ形式による懇談会を開催する。まずは一中校区を皮切りにして、代陽・松

高・八代小学校区を１０月中旬までに小学校区単位で懇談会を開催したいと考えている。１１月中旬からは中学校区単位で懇談会を開催し、その際に具体的な再編案を示せればと考えている。その再編案は、各校区に示すものであるため、教育委員には、８月、９月、１０月ぐらいまでに定例会にて審議をお願いしたい。まずは８月の定例会の会議終了後に、再編案の叩き台を確認していただき、意見を伺いたいと考えている。

中教育長　　今回先に意見を頂いたのでそれぞれの地域に入って話をする時、総合的な話以外にそれぞれの地域の実情などを踏まえた話が出来ると思う。そこは十分事務局の方で準備をして臨んでほしい。かなり厳しい意見のところもあるので、そこは真摯に受けとめて説明ができるようにしてほしい。

５．連絡事項

教育政策課　令和８年度第１回総合教育会議（7/31）
テーマ「学校における働き方改革」
旧植柳幼稚園・旧麦島幼稚園の利活用
市有資産利活用見学会（8/4）
旧千丁幼稚園については放課後児童クラブなどでの活用を検討中のため、見学会から除く

学校教育課　長期休業中における時差出勤の試行を実施
中体連の結果
九州中体連大会壮行会（7/29）
全国中体連大会壮行会（8/7）
Ｂ訪問夏季休業中に１３校実施
学校閉庁日（8/10～14）

教育施設課　八代市造園防災協会ボランティアによる樹木点検（千丁・鏡・東陽・泉地区）（7/24）
ネクスコ西日本ボランティアによる樹木の剪定・伐採（松高小学校）（7/24）
塗装防水協会ボランティアによる遊具の塗装（千丁小学校）（7/24）
管工事業協同組合ボランティアによる給水の点検と清掃（太田郷小学校）（8/18）

教育サポートセンター
通級者に対する利用するテラスの希望調査（7/7～7/31）
テラス決定通知（8/21）
通級者以外の児童生徒及び保護者の見学会（8月最終週）
第２回不登校対応研修（7/31）
特別支援教育アドバンズ研修会（8/4）

事務局　８月定例会日程確認（8/24　9：00～予定）

６．　会議録署名委員の指名　　渡邉委員・早田委員

７．閉会　　（午後４時２２分　閉会）

令和　　年　　月　　日

署名委員

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

記録者

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿